



呉トピックス

毎月第3週は「ふれあい活動」



呉地域本部は4月17日から役職員が組合員を訪問し、要望などを直接聞く「ふれあい活動」を始めています。

同本部として初めての取り組みとなる「ふれあい活動」は組合員、地域住民や利用者との対話を通じて、幅広い意見をJAの事業や活動に反映させ、組合員・利用者目線の事業運営に取り組み、信頼関係を築くことが目的。

毎月第3週をふれあい活動週間と定めて、日常業務を通して恒常的に活動し役職員が協同組合の原点にかえり、これまで以上に「組合員との対話」に取り組みます。

今年度入組した向井菜歩さん(18)は「新しいJAひろしまをPRし、組合員や地域住民と一緒に盛り上げたい。訪問という基本を大切にありがとうと言ってもらえるよう努める」と話します。



▲縁側で談笑する向井さん(左)と組合員

大きく育て トウモロコシ種まき



呉地域本部広西支店管内にある広北学童農園で4月17日に呉市立三坂地小学校3年生52人が、18日には善通寺学園善通寺幼稚園の年長85人がトウモロコシの種まきを体験しました。

同小学校は例年、総合的な学習の時間を利用して農業体験を取り入れ、どのように農作物が育ち収穫できるか学習するため、農園の種まきと収穫などの作業をJA職員と一緒にこなしています。

JA営農販売課の職員が種のまき方や水のやり方を説明した後、子どもたちはぬかるんだ畑に足をとられながら、3粒ずつ種を丁寧にまきました。

JA職員が水やりなど管理し、児童は月に1回程度園地を訪れて観察。7月に収穫体験を行なう予定です。



▲真剣な表情で種をまく園児

水稻育苗 新入職員農業実習

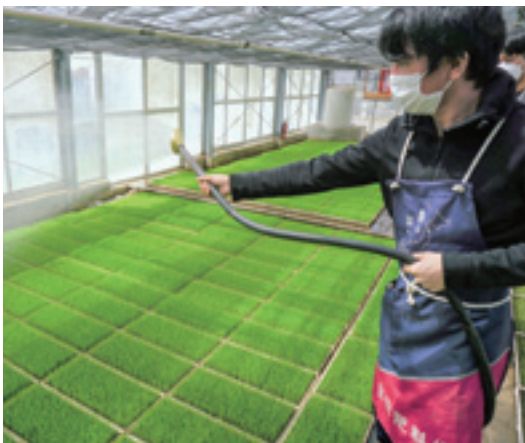


呉地域本部の育苗センターでは水稻の育苗が順調に進み、ハウス内は鮮やかな緑色になっています。今年は約13,000枚の苗を育て、4月下旬ごろから生産者に引き渡しました。

4月20日から職員の農業への意識向上と事業の理解を促すため職員研修の一環として農業実習を行ない、同本部の新入職員や渉外担当者ら64人が約1カ月間作業にあたりました。

実習は営農指導員の指導を受けて、機械を使った播種やハウス内での芽出し、水やり、生産者への苗の引き渡しなど多岐にわたります。

今年度入組した呉支店の平凌太郎さん(23)は「良い苗を育て、生産者のみなさんにおいしいお米を育ててもらえるように、丁寧に作業する」と作業に汗を流しました。



▲まんべんなく水やりする平さん

なるほどえ〜のう! 営農情報

落葉果樹

イチジク

●摘芯

展葉10枚前後で随時摘芯します。

●追肥

果実の肥大促進を目的に、硫酸加里を成木一本あたり250g施用します。

●カミキリムシ対策

成虫を見つけたら捕殺します。枝から木くずの様なものが出ていたら、その部分に「園芸用キンチョールE」を注入します。近年では、せん定した切り口の縁からも侵入しているため、こまめにチェックしましょう。



家庭菜園

6月は梅雨に注意

梅雨の時期は普段よりも大量の雨が降ることにより菜園内に様々な問題が発生します。主なトラブルと代表的な解決法を理解することでこれからの梅雨に備えましょう。

トラブル

①野菜が病気にかかりやすくなる

長い降雨が続くと湿度が上昇し、病気の原因となる細菌やカビが増えやすくなり、泥はねも病気を広げる要因となります。

また、ナメクジなどの多湿を好む害虫が発生しやすくなり食害などの問題も発生します。

②野菜が生育不良になってしまう

梅雨が続きと土中の水分量が多くなることで根腐れや根が窒息状態になり酸素欠乏症などが発生しやすく、生育不良や障害を引き起こす原因となります。

③栄養素の流出

表面が露出している畑では大量の雨で土が流され、雨に溶けやすいカリウムやマグネシウムなどの栄養素が流出してしまいます。

梅雨に備えよう!

マルチング	表面の土をビニールや藁で覆うことをマルチングといいます。マルチングを行うことで土の流出や雨による泥はねを防ぐことができ、雑草の繁殖を抑制する効果もあります。
雨除け、カバー	アーチ形の支柱やビニールなどの資材を使って野菜に直接雨が当たらないようにする方法があります。土の水分量を保つ以外にも雨が原因で病気が広がるのを防ぐことができます。
高畝、鉢底石を入れる	畝を高くすることで水はけを良くし、排水をコントロールすることができます。土の中に水が溜まりすぎないようにすることで湿害を防ぐことができます。また、プランター菜園の場合は鉢底石を多めに入れることで水はけを良くすることができます。
晴天時に作業する	雨の日に剪定などの作業を行なうと根や葉に傷がつき、そこから病原菌が入り病気になる可能性があります。できるだけ、剪定などの作業は梅雨前に終わらせておくのがよいでしょう。

梅雨に弱い野菜

キュウリ、トマト、イチゴ、枝豆などは土壌の加湿に弱いいため、日々の天気をチェックし、これからの梅雨に備えましょう。

カキ

●摘果
摘果開始は生理落果が終了する6月下旬ころから行ないます。摘果をすることで、

- ①隔年結果の防止
- ②果実肥大の促進
- ③果実品質の向上
- ④省力化と作業効率の向上などの効果が得られます。



摘果する果実は、

- ①発育不良果
- ②奇形果
- ③病害虫被害果
- ④へたに傷がある果実
- ⑤地面と接する果実
- ⑥結果枝の基部や先端の果実
- ⑦上向き果などです。

結果枝の中央部分の下向きで形と肥大の良い果実を残します。

葉果比（果実一個に対して樹全体の葉が何枚必要かを表す比率）は、実が着いていない枝の葉も含め10〜15葉に一果とします。

モモ

●袋かけ
仕上げ摘果が終わったら、袋かけをします。モモは袋が外れやすいので、止め金を織り込むようにして隙間ができないようにしっかりと止めましょう。

新梢管理

主枝や亜主枝の背面から発生した枝は、摘芯やねん枝（枝をねじり曲げる）をして、枝の日焼け防止や翌年の結果枝の確保に利用します。一度に多くの新梢を切るとう生理落果を助長してしまうので、数回に分けて整理しましょう。

スモモ

▽仕上げ摘果
5月に引き続き、仕上げ摘果を行ないます。傷果、変形果、病害虫被害果を中心に摘果しましょう。

▽収穫

大石早生などの早生系品種は収穫が始まります。収穫の目安は果実の色が抜け、果頂部が赤みを帯び始めたところとなります。

キウイフルーツ

▽追肥

成木一樹あたり、『ひろしまフルーツ元氣866』を2kg施用します。

▽摘芯

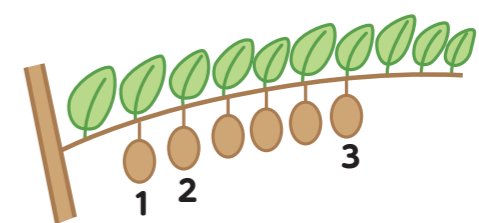
結果枝は先端の実が止まっている部分から8〜12葉で摘芯します。側枝を更新したい場合は、6月上旬までに発生した枝を18葉前後で摘芯します。葉の密度は、地面にうっすら木漏

れ日が差す程度にしましょう。

▽摘果

開花後30〜40日後（6月下旬）までに仕上げ摘果を終了します。1㎡あたり20〜25果程度とします。

キウイフルーツの摘果



1.2.3の順に摘果する

MEMO

6月に入ると梅雨を迎えます。曇雨天が続くと、光合成での養分生産が減少し、枝が軟弱に徒長し、養分競争による生理落果が発生しやすくなります。

また、園地内が滞水し根が傷んだ場合、天気が良くなると葉からの急激な蒸散に水分の吸い上げが間に合わなくなり、果実障害や葉のしおれが発生する恐れがあります。

新梢の管理も重要ですが、排水性向上のために、梅雨入りまでに明渠など排水路の整備を行ないます。

トラクターにもおすすめ!

JAの自動車共済

農作業中の重大な事故の3割は、トラクターによるものです!

令和2年の農作業事故死亡者数は270人で、そのうち乗用型トラクターによる事故は81人となっており、トラクターによる死亡事故が全体の約3割を占めています。
(農林水産省:令和2年に発生した農作業死亡事故の概要)

ケース1
トラクターが農作業中に横転し、運転者が下敷きになりケガをしました。

ケース2
トラクターで、他人をケガさせました。

※トラクター(農耕作業用小型特殊自動車)は自賠責共済(保険)に加入することができません。ケース2のように自動車事故により他人を死傷させた場合、高額な損害賠償責任を負う恐れがあります。

自動車共済で、いざという時に備えておきましょう!

自動車共済にご加入いただいていると、トラクターの運行中の事故により他人を死傷させてしまった場合や、他人の車やモノを壊してしまった場合でも、自己負担額なく、共済金額無制限で保障!!

プラスご契約のトラクターに搭乗中の方についても保障!!
安心してトラクターを運行できる!

月払い共済掛金

1,410円

一時払い **15,610円**

ご契約例【トラクタープラン】

共済期間12か月の新規契約(6D等級)
事故有係数適用期間0年

- 対人賠償 無制限
- 対物賠償 無制限
(免責金額0万円、対物超過修理費用保障付)
- 人身傷害保障 5,000万円
(被共済者限定特則:有)
- 傷害定額給付保障 1,000万円
(標準型、被共済者限定特則:有)
- 特約 自動継続特約

令和5年4月時点


■この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には、「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。 [23349990019]

ときめき  女性部通信

J A 呉女性部 通常総代会 開催

J A 呉女性部は4月26日、J A ひろしま呉地域本部の農協会館で「令和4年度 J A 呉女性部通常総代会」を開催しました。

「J A 呉女性部」として最後になる総代会は総代や J A 関係者ら約110人が参加し盛大に行なわれ、令和4年度の活動報告、収支決算と併せて令和5年度の活動計画と収支予算について提案し、全議案が承認されました。

令和5年度は J A 女性組織3ヵ年計画「J A 女性 想いを一つに かなえよう  の実践2年目として食、農、地域の活性化と仲間づくり、持続可能な農業の実現に向け、女性農業者の育成を支援し、J A 事業へ積極的に運営参画していきます。

午後からは各支部が活動を報告。各支部が工夫を凝らした、日本舞踊やコーラス、音頭、紙芝居、体操が披露されました。会場は歓声と笑い声であふれ、参加したみなさんに楽しんでいただきました。



アトラクション

● 舞踊「ことぶき 壽 しやうちくばい 松竹梅」
三高支部 辻浜 陽子 さん



J A ひろしまの誕生を祝して見事な舞いを披露いただきました。

● 紙芝居「にんにん じんじん」
呉地区有志



第11回家の光食農教育紙芝居コンクールで最優秀賞に輝いた呉市の姉弟の作品を披露しました。

● 踊り「おこさ節」
高田支部 福永 眞千子 さん



2体の人形を連れての踊りに会場は笑顔に包まれました。

● 「江田島・能美島音頭」 江田島地区有志



「ザリガニ」のように見える江田島と能美島。江田島町・大柿町・能美町・沖美町の4町を紹介した音頭を踊りました。

● コーラス「みんなで歌おう♪」 波多見支部



「みかんの咲く丘」「365歩のマーチ」「この広い野原いっぱい」「ふるさと」の4曲を披露。きれいな歌声が会場を包みました。

● J A うちわ体操「高校三年生」 江田島地区有志



3B体操をもとに「J A 呉」と「J A ひろしま」のうちわを持って体操しました。

● 血液さらさら体操「大事な人だから」 会場全員



最後は会場全員で血液さらさら体操を楽しく踊りました。